

# 2020年度事業計画

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

## 【1】事業の趣旨

脊髄損傷者及び障害者の権利を擁護し、重度の障害者でも自立と社会参加できるように支援するとともに、医療及び介護制度の充実を図り、これらの施策を総合的かつ計画的に推進する事業を行い、もって広く社会に貢献することを目的とする。

## 【2】事業の内容

### 1. ピアサポート等の障害福祉相談支援事業

#### (1) ピアサポート相談支援事業（2020年度自賠責運用益拠出事業）

脊髄損傷者及び障害者のためのピアサポート相談支援事業を全国的に実施して、脊髄損傷患者及び障害者のより円滑な社会参加を促進させるとともに、脊髄損傷者及び障害者のためのピアサポート活動の全国的な普及を図る。

#### ①事業

本事業は、病院やリハビリ施設などに入院している脊髄損傷患者、または、在宅の脊髄損傷者及び障害者とその家族等への本人中心の相談支援を充実し、重度の障害者が社会参加できる共生社会を目指すことを基本としている。そのために、広く全国各地域での相談会などの開催や電話での相談にも対応し、貴重な社会資源として活動を行う。

#### ②脊髄損傷者等へのピアサポートプログラム

- ア. 各支部にホームページに相談窓口を設置し相談者がブラウザからウェブサイトを通じて相談を申し込める仕組みを推進していく。このことによりピアサポート事業のすそ野を広げる。
- イ. 本人もしくはご家族等の要請を受けて、必要に応じて自宅等へ訪問し個別ピアサポートをする。
- ウ. 各県支部において、福祉施設等のためのビラ、ポスターを配布し、主に公共施設等で地域の脊髄損傷者及び障害者とその家族を対象とした個別相談会およびグループ相談会の定期的開催する。
- エ. ピアサポーターの派遣及びロールモデルを派遣して講演会を開催する。
- オ. 全国各ブロックで、インターネットを活用した相談支援体制を構築するための研修会を開催し、各県支部の中心となる相談員を育成していく。この中心的な相談員を「ピアサポートリーダー」としリーダーは各支部内の従来のピアマネジャーをスキルアップし、「ピアサポートリーダー」として相応しい資質を持った新たなリーダー育成を図る。
- カ. 交通事故に因る相談セミナーを開催する。
- キ. 相談支援員のテキストによる研修会でスキルアップを図る。

- ク. ピアサポート相談支援専用のホームページの活用方法について各ブロックにて研修会を開き、このホームページを利用し、各地の相談支援事業がより活性化し、相談の必要な者が何時でも気楽に当会に相談できる体制を整える。
- ケ. 『相談支援カード及び、ピアサポート実施報告書等の書式の改変』し個人情報の保護と管理を中心に全脊連の相談支援事業実績をデータベース化するため相談支援カードや報告書等の書式を改善し、データ入力として全国統一する。また、事業を実施する支部は、次のような資料を全脊連本部にデータで提出することで必要な経費を助成金から支払われる。
  - a. ピアサポート相談支援事業実施計画書
  - b. ピアサポート相談支援事業実施報告書
  - c. 相談支援カードに所定の事項を記入されたもの
  - d. ピアサポート相談支援事業経費支払内訳書

### ③エンパワメントに関する講演

脊髄損傷の発生率で最も多いのが交通事故である。したがって。交通事故等に起因する脊髄損傷者に対して、ピアサポートを通じて情報を提供するなどの取組みによって、有効かつ広く社会に貢献する。また、日本損害保険協会・NASVAとも連携して、障害を負って社会的障壁に直面する状況になってしまった本人及びその家族の自己実現を目指す。

### ④ピアサポート情報管理システム

- ア. 全国各ブロックで、インターネットを活用した相談支援体制を構築するための研修会を開催し、各県支部の中心となる相談員を育成し、フォローアップ研修も行う。
- イ. ウェブサイトを通じた相談受付などにより、ピアサポート事業のすそ野を広げることを目指す。

## 2. 調査研究事業

脊髄損傷及び障害者が、社会生活を送るうえでの必要な情報を的確に把握し、かつ有効な情報を恒久的に調査研究して行くことで、QOLの向上や社会参加の促進に資することを目的に調査研究事業を行っていく。

また、行政機関や民間法人等が行う調査研究において、本会の調査研究事業と同様の理念を有するものと認められる場合においては、調査研究協力を行っていく。

調査研究の発表についてはホームページ等を通じ広く行っていくほか、調査結果を踏まえた政策提言・要望活動事業を実施する。

### (1) 全国の脊髄損傷の実態調査

日本国内における脊髄損傷者の疫学調査としては、1990年から1992年を対象とした日本パラプレジヤ医学会が実施した「日本における脊損発生の疫学調査」が挙げられる。しかし、この調査から30年が経過しつつあり、脊髄損傷の予防を含めた最新の疫学調査が、医学会をはじめ各方面から求められている。

その一方で、1990年代は労災病院が脊損センターとして機能していたが、現在はそ

の機能が失われてしまった。このため、最新の疫学調査や科学的データの収集と分析には、障害者団体と医学会の連携が不可欠である。

このため、2020年度から2024年度を目途に調査を実施することで、受傷原因別や年齢別の患者数などの基礎データを明らかにするとともに、受傷予防の対策や教育の在り方など、多様な分野にわたって提言を発信していく。

### 3. 情報提供事業

#### (1) 広報及び情報提供事業（自主事業）

##### ①月刊「脊損ニュース」の発行事業

脊損ニュースの持つ公益性の役割は、一層大きな存在となってきた。誌面の体裁をB5サイズからA4サイズへ変更し、見やすく、読みやすい編集を実施していく。紙面内容に関しても、様々な省令通達等の情報提供も速やかに誌面を通して提示していく。重度障害者が地域生活を継続させ、QOLを充実させることをメインテーマとし、続発する災害に対処するためにも日頃の防災意識を高めるため、災害に関する記事を積極的に掲載していく。また、ピアサポートの視点に立った会員各自、各支部からの原稿執筆、投稿を適宜掲載していく。

#### (2) 脊髄損傷患者のための社会参加ガイドブック製作事業

##### ①脊髄損傷患者のための社会参加ガイドブック（ホームページでも公開）

Together1	「排泄管理」
Together2	「車いす」
Together3	「褥瘡」
Together4	「住宅改造」
Together5	「自動車運転と移動」
Together6	「いきいきと生きる・エンパワメント」
Together7	「エンジョイスports」
Together8	「就労」
Together9	「福祉制度の利用」
Together10	「セクシュアリティ」
Together11	「食生活」

#### (3) 全脊連の活動成果物等の無料提供

- ①入会ガイド「あしたから元気ケア」を9000部作成し配布したが、未配布支部もあるため状況確認しつつ不足分を新たに作成予定。
- ②DVD“TOMORROW”～新たな扉の向こうへ～
- ③脊髄損傷患者のための社会参加ガイドブック（前掲）

#### (4) ホームページ運営事業

一般会員を増やすためにも、全脊連のホームページにFacebookのSNSを掲載して活動紹介や脊髄損傷者に関する福祉・医療等の積極的な情報発信を図る。また、活動を充実させるためにも財政面での強化が必要なため、財務担当と協力しE-MAILを出すな

どして、積極的に賛助会員の獲得・寄付等の呼びかけを実施していく。

また、ピアサポートWG.の中で実施しているピアサポートのデータベース化や相談Webサイトについて、運用マニュアル作成後早急に本格的運用を図りたい。

#### 4. 政策提言・要望活動事業

##### (1) 障害当事者の政策提言

障害者が社会生活をする上で、制度やバリアフリーについてなど、個人の力ではどうしても乗り越えられない問題を取り上げ、行政機関、国会議員並びに民間法人等へ政策提言及び要望活動を行っていく。

##### (2) 内外の関連団体との連携及び交流

今年度も関係各種団体と共に様々な問題について協議を行い、障害者の福祉向上をすすめていく。

- ①日本障害者フォーラムに加盟し、障害者権利条約の締約国審査に向けた準備、障害者差別解消法の事例収集等の課題に取り組む。
- ②「日本の福祉を考える会」に参加
- ③ユニバーサル社会推進議員連盟に参加
- ④全国社会福祉協議会障害者団体連絡協議会に加盟
- ⑤DPI日本会議に加盟

#### 5. 労災被災者等支援事業

当団体の要望を踏まえて示された2015年12月22日付け厚生労働省労働基準局補償課長通達の趣旨を周知・徹底させ、要件に該当するものが確実かつスムーズに傷病（補償）年金に移行できるよう促進していく。また、労災に関しての法改正等の新たな動きについても、適時必要な情報等をお届けできるよう努めていく。各ブロック・支部においても、周知を図るとともに、問題の把握に努めていただくようお願いをしていく。

また、今年度も、労災補償問題に関する数項目を取り上げて、厚生労働省に要望を行っていきたい。特に、遺族（補償）給付の取り扱いの抜本的な見直しの検討を引き続き強く求めていく。

以下、相談受付

一般の方からの相談も受け付けているので、相談する際に「連合会の会員」またはその家族である旨を知らせるよう勧めてください。また、相談・援助の充実に役立てられるよう、具体的事例についての情報の収集も行っていますので、ご協力をよろしくお願い致します。

全国労働安全衛生センター連絡会議（略称・全国安全センター）

事務局長 古谷杉郎（全国脊髄損傷者連合会理事）

〒136-0071 東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル5階

TEL (03) 3636-3882 FAX (03) 3636-3881

Eメール 2009aban@gmail.com

## 6. シンポジウム事業

2020年6月6日～7日の全国脊髄損傷者連合会 定時総会 千葉県大会において、以下のシンポジウムを開催予定。

- ①開催日： 6月7日（土）  
演 題： 「身障者ドライバーの安全運転への取り組みについて  
～装置メーカーの視点と関わり～」  
講 師： 杉山 光一 氏（有限会社フジオート代表取締役）
  
- ②開催日： 6月8日（日）  
演 題： 「脊髄再生医療について」（仮題）  
講 師： 國府田 正雄 氏（筑波大学医学医療系整形外科 准教授）
  
- ③開催日： 6月8日（日）  
演 題： 「障害者と防災」（仮題）  
講 師： 内閣府防災担当（要請中）
  
- ④開催日： 6月8日（日）  
演 題： 「千葉リハ成果発表」（仮題）  
講 師： 千葉県リハビリテーション病院リハビリテーション課

## 7. 脊髄損傷者の社会参加推進支援事業

### （1）国の審議会等への参加

- ①障害者政策委員会（内閣府）  
2020年度の議題については以下のものが想定されるので、引き続き委員として議論に関与する。
  - ア. 障害者基本計画の実施状況の監視について
  - イ. 障害者権利条約の締約国審査について
  
- ②社会保障審議会障害者部会（厚生労働省）  
2020年度の議題については以下のものが想定されるので、引き続き委員として議論に関与する。
  - ア. 障害福祉サービス等の報酬改定について
  - イ. 障害者総合支援法の見直しについて
  - ウ. 通勤や職場等における支援の在り方について
  
- ③バリアフリー関係
  - ア. 移動等円滑化評価会議（国土交通省）
  - イ. バリアフリー法及び関連施策のあり方に関する検討会（国土交通省）

## (2) 被災地支援

大規模かつ広域災害が発生した場合、被災自治体だけでは被災者救済への対応は極めて困難であることは東日本大震災の教訓で明らかになった。

バリアフリーWGでは、各都道府県の被災者への支援策の現状や今後の対応について調査をし、全国的な災害時の相互応援協定締結を推進することと、相互応援協定の具体的な内容についてのガイドライン作りを国に要望していく。

## (3) 車いす寄贈

近年は諸事情により休止しているが、助成財団等の支援が受けられた場合は再開予定。

## 8. 障害者のスポーツの振興並びに余暇活動の支援事業

### (1) 体育振興事業

障害者福祉の増進を目的に、地域で暮らす障害者と障害を持たない地域住民との相互交流を図るための、ゲートボール大会、車いすバスケットボール大会、ツインバスケットボール大会、グラウンドゴルフ大会等、他団体が主催したスポーツ大会並びに余暇活動へ、費用の助成という形で後援や協賛を行い、障害者のスポーツを通じた社会参加の促進と余暇活動の支援を行う。

また、障害者がスポーツや余暇活動を行うには、健常者による多大な支援を要することから、本会では健常ボランティアスタッフを会員の親族や大会開催地における近隣住民等から広く募集し、ボランティアスタッフの派遣並びに当該催しの運営をボランティアスタッフと共に本会がサポートすることにより、健常者と障害者が一緒に活動できる場の創設を通じて、障害者のスポーツの振興並びに余暇活動の理解及び普及に努める。

## 9. その他

### (1) 全国脊髄損傷者連合会 定時総会開催の予定

- ①2020年度 関東ブロック
- ②2021年度 近畿東海ブロック
- ③2022年度 中四国ブロック

ブロック輪番制は2017年度の九州ブロックで終了し、その後については理事会及び代表者会議等で衆知を図ることとし、2019年度は東北ブロックの山形県で開催した。2020年度は千葉県、2021年度は京都府が総会を開催することを予定している。

### (2) 全国総会・ブロック会議等・理事会の開催

#### ①第19回全国定時総会千葉県大会の開催

開催日： 2020年6月6日（土）・7日（日）

開催場所： かずさアカデミアホール 202会議室

住所： 〒292-0818千葉県木更津市かずさ鎌足2-3-9

電 話： 0438-20-5555

②理事会・業務執行理事会・ピアサポートシステム研修会・ワーキンググループ会議

ア. ピアサポートシステム研修会：

全国各ブロックで、インターネットを活用した相談支援体制を構築するための研修会を開催し、各県支部の中心となる相談員を育成していく。また、今年度の各ブロックのテーマとして「交通安全とエンパワメント」となっている。

イ. ホームページのない支部は管理者を選出し、本部で用意したホームページをアップする。ホームページ作成は障がい者ITサポートおきなわへ発注する。

③各ブロック会議の開催日程及び活動計画

ア. 北海道東北ブロック

① 代表者会議

開催日：令和2年 4月 4日（土）

会 場： ふれあいランド岩手

② 北海道東北ブロック会義&ピアサポータースキルアップ研修会

開催日：令和2年9月13日（日）

会 場：秋田県青少年交流センター（ユースパル）

講演名： 未定

講師： 未定

③ 第29回理事長杯争奪東北ブロック車椅子ゲートボール秋田県大会

開催日：令和2年9月14日（月）

会 場： 秋田市土崎光沼アリーナ

④ ブロック会ピアサポータースキルアップ研修会

担当支部： 岩手県支部

開 催 日： 令和2年10月24日（土）

開催場所： ホテルシティプラザ北上

講演名： 未定

講師： 未定

イ. 第41回関東ブロック会議

担当支部：

開 催 日： 未定（2020年9月開催予定）

開催場所： 未定

ウ. 第44回北越ブロック会議、および、  
ピアサポータースキルアップ研修会（同時開催）

担当支部： 石川県支部

開 催 日： 10月4日（日）

開催場所： ホテル金沢

講 演： iPS細胞を使った脊髄再生医療について

講 師： 中村 雅也 氏（慶應義塾大学医学部整形外科学教室・教授）

スキルアップ研修会、および、  
スポーツ交流会（同時開催）

開催支部： 富山県支部

開催日： 11月22日（日）

開催場所： 未定

講演： 消費者トラブルに巻き込まれないために

講師： 未定

エ. 第41回近畿・東海ブロック会議

担当支部： 三重県支部

開催日： 9月8日（日）

開催場所： 湯本榊原館

講演： ITを活用するための勉強会

講師： 未定

オ. 第40回中国四国ブロック会議

担当支部： 広島県支部

開催日： 未定

開催場所： 未定

カ. 第43回九州ブロック定例会議

担当支部： 福岡県支部

開催日： 10月18日（金）

開催場所： 福岡県春日市クローバープラザ

スキルアップ研修会

開催支部： 未定

開催日： 未定

開催場所： 福岡県春日市クローバープラザ